

—とあるスタジオ 地下室—

「あ……気持ちいい……♡
友希那ま●こ……ガチで……ヤバイ……♡」

「お……がっ……あ……っ!!」

「どうやら友希那?
最新ボイトレの「首絞めックス」はよ
これ最高だろ?♡」

「おあ……あ……がっ!!」

「は……は……
こ……んなのがボイト……ぐがっ!!」

「はいっまた絞めて♡」

「……うあ……あ……あっ!!
もう……やめ……お……っがっ!!」

「こっやって緩めて絞めてを
繰り返しすることによって喉が開きやすくなる♡
理にかなってるだろ?(笑)」

「お……おっ……あ……♡」

「おっ?」

「へへっそろそろ次の段階かな?」



「ぐ…おあ…♡
ま●こビクビクして…きたな…あ…♡」

「う…ああ…が…♡」
「ど…うひで…初めてふえ…
こんな…こと…さふえ…て…♡」

「ふ…ふ…ふ…♡
初モノとは思えねえ…お…ねだり…♡」

「お…ねが…い…♡
やめ…ふえ…ぐお…がつ…♡」

「無理矢理イカされることによって
肺活量がアップして
さらに声に艶が出るようになるんだぜ♡」

「そ…んひゃ…わへ…♡
お…ああ…♡お…ああ…あ…♡」

「だからイけ♡イけ♡」

「おっ…おね♡おねひゃ…♡
もっ…もっキ…あっが…おっ…お…♡」

「ぐおおおおイけって言うてるだろっ！
オレにイキま●こ種付けさせろおおおっ！！」



「んおおおおおおあああ♡♡♡」

「あああっきたきたあああっ！
イきま●こ孕めっ孕め友希那あああ!!」

「お……あオ……がっ……あがっ……♡♡♡」

「ふ……ふ……孕め……友希那あ……♡
初モノ……イきま●こ……種付けえ……♡♡♡」

「あ……あが……♡
絞め……ひゃ……いへ……♡♡♡」

「まだ……ま●こ痙攣して……♡
お……お……首絞めックス……最高お……♡♡♡」

「は……は……♡♡♡」

「お……やってるなあ♡♡♡」

「紗夜はどうよ……っって上手くいったみたいだな♡♡♡」

「ぐっすり寝てるわ
ちよい盛り過ぎたかな(笑)」

「どうひて……紗夜……が……♡♡♡」

「どうしてっってなりオレらはさRoseliaが
もっ和高みにイけるよう協力したいんだよ♡♡♡」



―数十分後―

「……うん……」

「友希那ま●こやバいって♡
マジっマジでち●ぼ溶けるぅっ♡」

「ひゃ……め……へえ……♡」

「こ……こは……
私は……確か……っ!？」

「お——やっとお目覚めか♡」

「み……凄さ……ん……?
これは……何を……して……」

「な……何って……お……お♡
どう……見ても……ポイトレ……だろお……♡」

「ポ……イトレ……?……?
何を……何を……言って……」

「紗夜……逃ふえ……て……♡
早ひゅ……逃ふえ……おっおおあ♡」

「おーしおしガン突きイクぜ♡♡
紗夜にトロトロのアへ顔見せてやりな♡」



「ふっふっ
友希那っ友希那あああっ♡」

「おっおおああああ♡
紗ひよ♡紗ひよ逃げふええっあが…あ…♡」

「はいつググっとな♡」

「紗ひよ…逃ふえ…て…♡
こいつ…ひやは…私たひ…全員を…おお…♡」

「あ…ああ…♡」

「ま●こ痙攣激しくなつて…っ♡
イけ…イけえ…オレのち●ぽでイけ友希那あ…♡」

「いひゃ…ぐら…♡
イきひゃ…ぐな…ひ…♡」

「無理矢理イカされねえと
ボイトレにならねえって言うてるだろ(笑)
だからっついけいけ友希那あああ!!」

「あ…ああ…ぐる…ぐる…っ♡」



「オああああああア♡♡」

イきま●こ孕めっ孕め!

オレそっくりのガキ孕め友希那あああつ!!」

「……おお……才……あ……♡」

「ん——…ふう…気絶しやがったか…♡」

「ど……どう……して……こんな……」

「紗夜のギターってさあ、つまらねえ音だよなあ」

「へ…いきなり…何を…」

「んてイイ音にするにはどうしたらいいと思う?」

「と……と……したら……って……」

「はあく分からねえのかよ
んなの種付けレ●プされることに決まってるだろ♡」

「た…ねつけ…レ●プ…」

「さらに首絞めツクスだとなお良しってね♡」

こ……来ないで……来ないで……」

「それじゃ最新ギタトレの開始とイくかあ(笑)」











